

ビジネスパーソン 400 人に聞いた「オフィスおやつの実態調査 2013」

オフィスおやつはアイデアの源 約 4 割が、「おやつを食べてアイデアが生まれた」と回答

新入社員は「おやつ待遇」が低い？ 67%が「入社年次が上がると、おやつを食べやすくなった」と回答

マーケティングリサーチを行う株式会社ネオマーケティング(所在地:東京都渋谷区)では、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。今回、2013年3月13日(水)~2013年3月14日(木)の2日間に20歳~39歳のビジネスパーソン男女400名を対象に、「オフィスおやつの実態」に関するインターネットリサーチを実施いたしました。

<調査背景>

新社会人の入社や人事異動など、新しい環境に移る人が多い春。慣れない社会人生活や初めての仕事に、大変な思いをする人も多いのではないのでしょうか。昨今では、仕事の効率アップや行き詰まった時のリフレッシュとして、おやつを積極的に導入する企業も多く見受けられ、ビジネスタイムの中でおやつを食べることがトレンドとして浸透しています。そこで今回は、20歳~39歳のビジネスパーソン男女が、仕事におやつをどう活用しているか探るべく、オフィスおやつに関する実態調査を行いました。

【調査概要】

1. 調査の方法:株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用したWEBアンケート方式で実施
2. 調査の対象:アイリサーチ登録モニターのうち、20歳~39歳の有職者男女(全国)
3. 回答数:400人
4. 調査実施日:2013年3月13日(水)~2013年3月14日(木)

◆「オフィスおやつに関する調査」主な質問と主な回答

【1】オフィスおやつはアイデアの源！？ 約4割の人が効果を実感。

約4割の人が、「おやつを食べたおかげで、プレストや会議で、アイデアやひらめきがスムーズに生まれた」と回答。「今まで行き詰まっていた問題について、解決策をひらめいた。(20代女性)」、「みんなでお菓子を食べて、一息ついた後に再度会議を行ったら、意見が活発に出た。(30代男性)」など、おやつの効果を実感している声も寄せられました。

【2】新入社員は「おやつ待遇」が低い？ 入社年次が上がると、おやつを食べやすくなる傾向に。

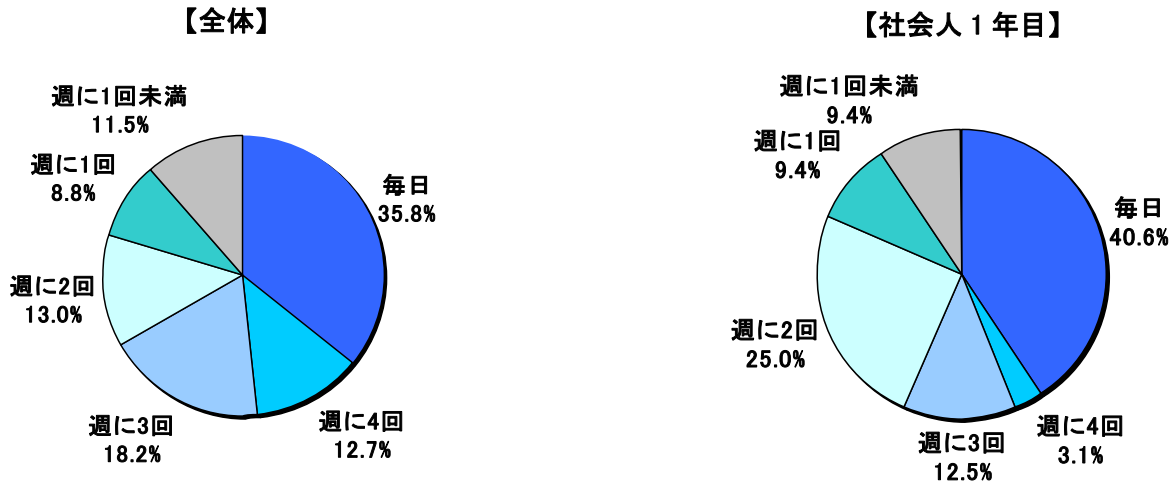
「平日週5日のうち、3日以上おやつを食べている人」は、全体では約7割。そんな中、67.0%が「入社年次が上がるにつれて、仕事に堂々とお菓子を食べられるようになった」と答えていることから、新入社員はオフィスでおやつを食べる事に気を遣っており、年次が上がるとおやつを食べやすくなる傾向が伺えます。

2013. 3. 29

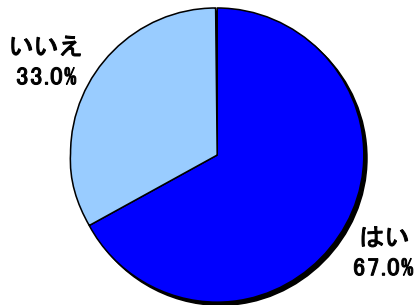
【調査結果】

—頻度・金額—

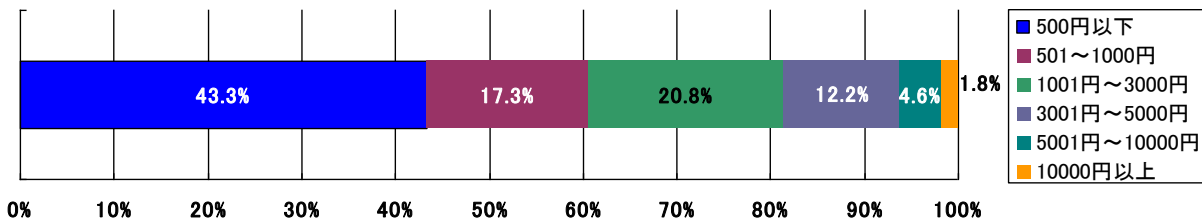
Q. ビジネスタイムの中でおやつを食べる頻度はどのぐらいですか。



Q. 入社年次が上がるにつれて、仕事に堂々とお菓子を食べられるようになりましたか。



Q. 1ヶ月に、オフィスおやつに費やしている金額を教えてください。



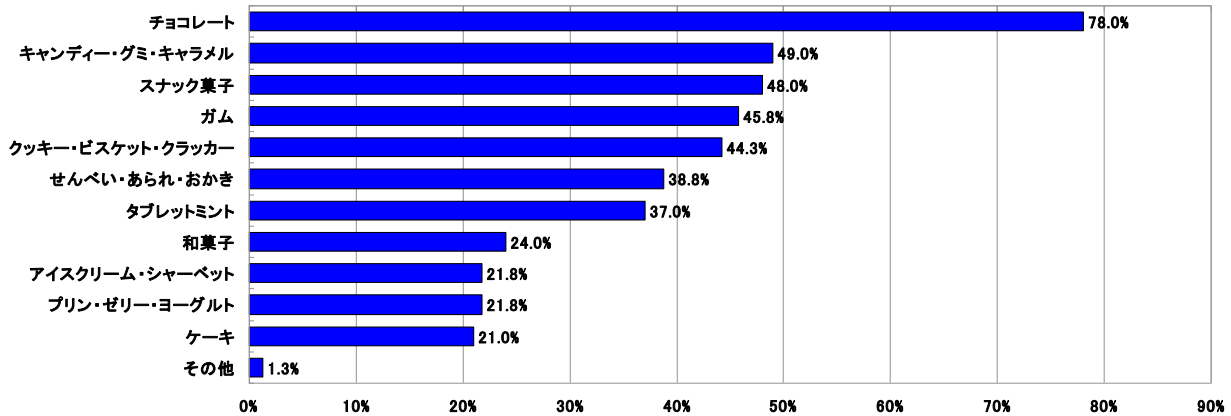
ビジネスタイムの中でおやつを食べる頻度をたずねたところ、全体では、「毎日」35.8%、「週に4回」12.8%、「週に3回」18.3%という結果となり、約7割近くの方が平日週5日のうち、3日以上おやつを食べていることがわかりました。

そんな中、「入社年次が上がるにつれて、仕事に堂々とお菓子を食べられるようになりましたか。」という質問に対して、67.0%が「はい」と答えおり、新入社員はオフィスでおやつを食べる事に気を遣っており、年次が上がるとおやつを食べやすくなることが伺えます。

2013. 3. 29

—種類・購入場所—

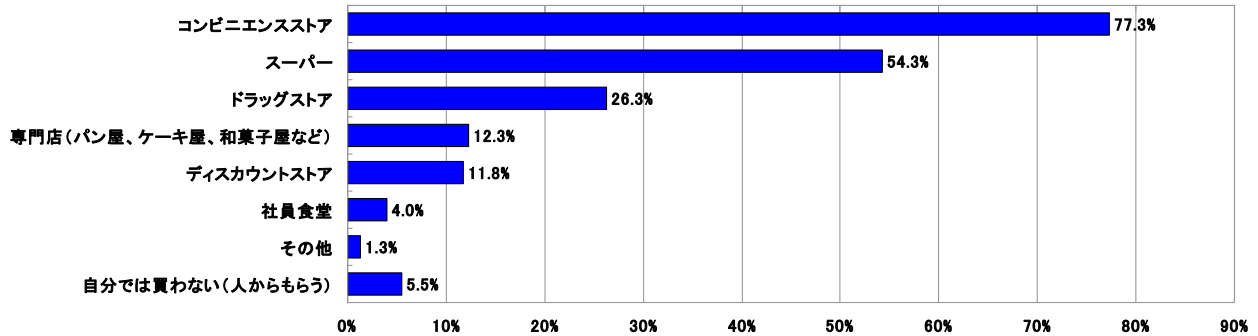
Q. オフィスでは、どのような種類のおやつを食べますか。



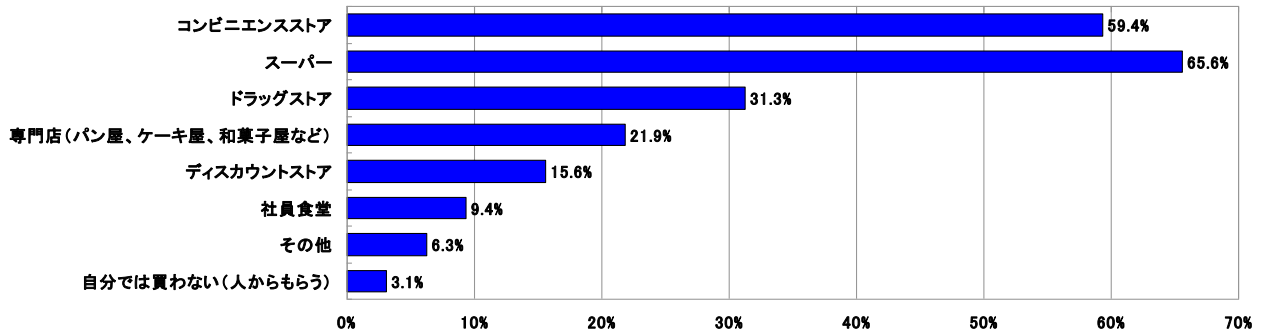
オフィスで食べるおやつの種類をたずねたところ、上位には「チョコレート」78.0%、「キャンディー・グミ・キャラメル」49.0%、「スナック菓子」48.0%、「ガム」45.8%、「クッキー・ビスケット・キャラメル」44.3%がランクイン。糖分補給ができるチョコレートが圧倒的な人気となりました。また、「ガム」や「クッキー・ビスケット・クラッカー」といった、噛みごたえのあるものも支持されています。

Q. 普段、オフィスおやつをどこで買うことが多いですか。

【全体】



【社会人1年目】

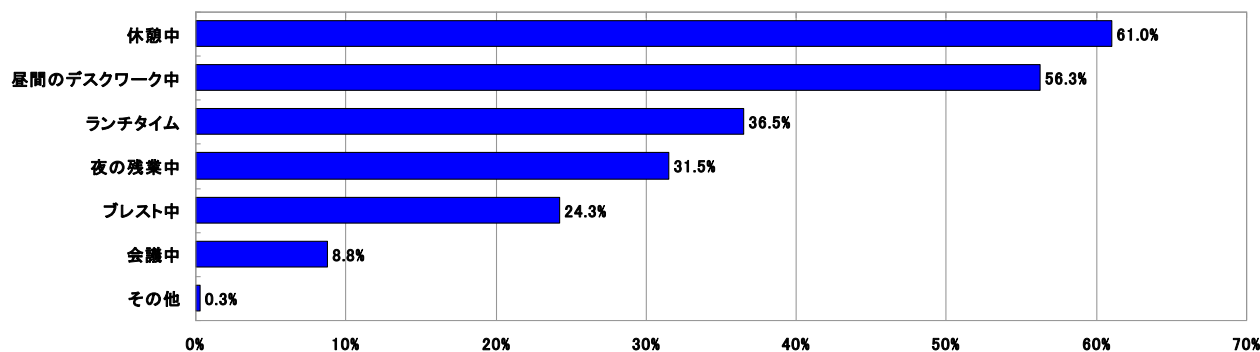


オフィスおやつの購入場所は、全体では「コンビニエンスストア」が 77.3%と、圧倒的に多い結果になりましたが、意外にも社会人1年目は「スーパー」が 65.6%と最も多い回答が寄せられました。

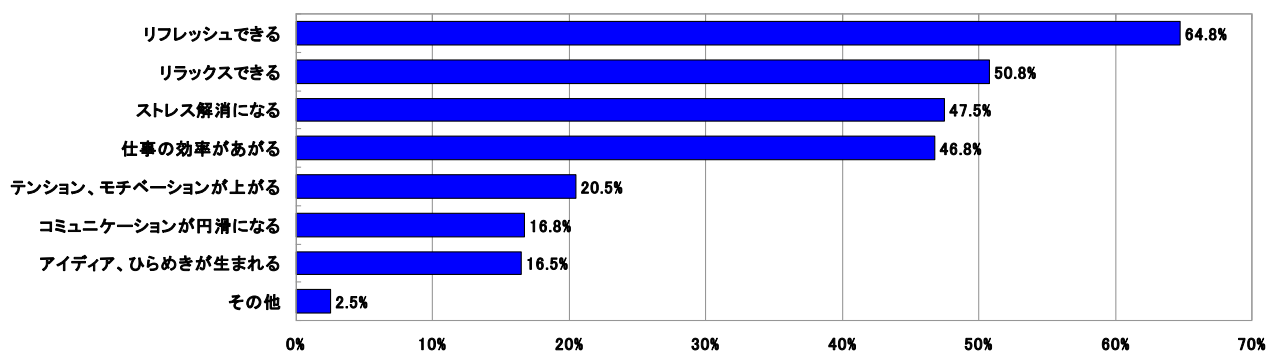
2013. 3. 29

—シチュエーション・効果—

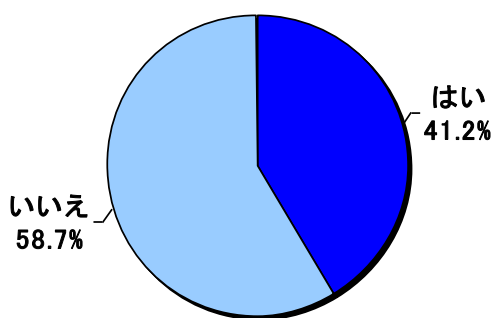
Q. 仕事中の、どんなシチュエーションでおやつを食べますか。



Q. オフィスでおやつを食べると、どんなメリットがあると思いますか。



Q. 仕事中心におやつを食べたおかげで、プレストや会議で、アイデアやひらめきがスムーズに生まれたことはありますか。



おやつを食べるシチュエーションについては、「昼間のデスクワーク中」56.3%、「夜の残業中」31.5%と、「仕事をしながら食べる」という回答が多く寄せられました。また、24.3%が「プレスト中におやつを食べる」と答えていることから、企画やアイデアを出す際に、おやつを活用している人が存在することもうかがえます。

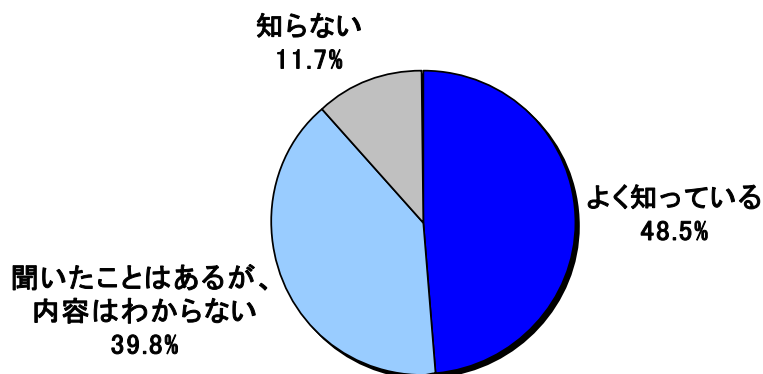
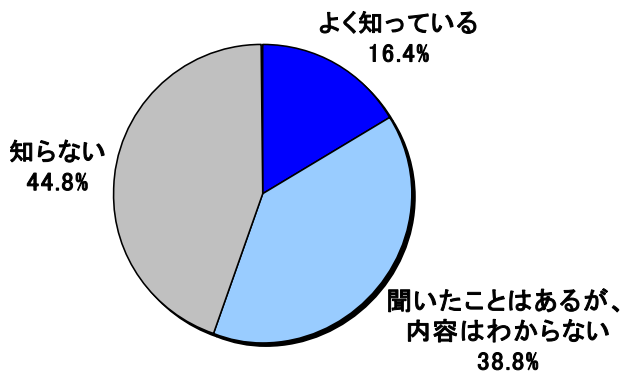
また、約 4 割の人が「おやつを食べたおかげで、プレストや会議で、アイデアやひらめきがスムーズに生まれた」と回答。「今まで行き詰まっていた問題について、解決策をひらめいた。(20 代女性)」、「みんなでお菓子を食べて一息ついた後に再度会議を行ったら、意見が活発に出た。(30 代男性)」といった、おやつの効果を実感している声も寄せられました。

2013. 3. 29

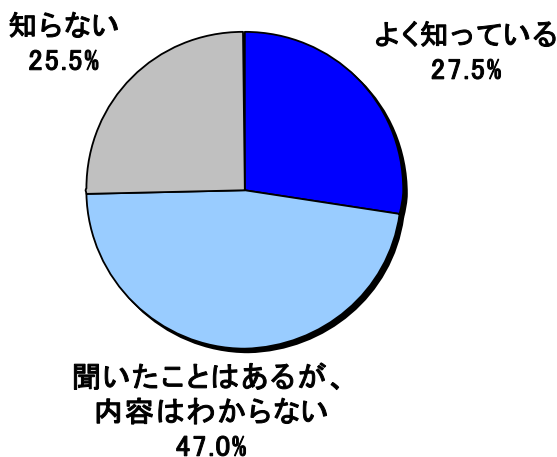
Q. あなたは、次に挙げるおやつの効果について知っていましたか。

【冷たいものを摂ると、脳をクールダウンできる】

【糖分を摂ると、脳へのエネルギー補給になり
脳の神経細胞を活発に働かせることができる】



【噛みごたえのあるものを摂ると、「前頭前野」を刺激できる】



「おやつの効果」に関する認知度をたずねたところ、「糖分が脳の神経細胞を活性化させる」という効果については、約半数が「よく知っている」と回答。甘いおやつが脳に与える効果は、ビジネスパーソンの間で既に浸透しているようです。効果を期待して、ビジネスタイムのおやつを選ぶ人もいるのではないのでしょうか。

Q. ユニークなおやつ制度を導入している企業を知っていますか。

おやつ効果を上手く生かし、「おやつ制度」を導入している企業についてたずねたところ、「アイスを週に一度皆で食べている会社がある。(20代女性)」「おやつタイムが15時くらいにあり、現場の人が当番制でおやつを取りに行くことになっている。(30代男性)」といった声が寄せられました。公式におやつ制度を導入する企業も出てきているようです。企画会議やブレスト中のアイデア活性化や、仕事効率アップのために、おやつを有効活用する企業が今後増えてくるかもしれません。

【引用・転載時のクレジット表記のお願い】

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例> 「インターネット調査のネオマーケティングが実施した調査結果によると・・・」

【詳細資料無料ダウンロードのお知らせ】

※「アイリサーチ」にて、本調査における詳細資料の無料ダウンロードサービスを行っております。ご興味のある方は下記より、アクセスをお願いします。記事等からのリンクも問題ございません。

http://www.i-research.jp/report_dl/list.html

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ネオマーケティング

広報事務局：浅野

TEL 03-6826-5000 FAX 03-6419-8375

<http://www.i-research.jp>

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-26-18 矢倉ビル 6F